

調布市国際交流平和都市宣言30周年

平和祈念事業

戦争の悲惨さや平和の大切さについて、考えてみませんか

調布市は、昭和58年9月27日に調布市非核平和都市宣言を、平成2年3月23日に調布市国際交流平和都市宣言をしています。

今年は調布市国際交流平和都市宣言30周年です。市では30周年記念事業として、平和に向けたさまざまな取り組みを行います。

調布市文化生涯学習課 ☎481-7139

調布市国際交流平和都市宣言

世界には たくさんの国があり
その国には それぞれに人が生きている
赤ちゃんもいれば お年寄りもいる
言葉や文化の違いはあっても
みんな仲良く生きたいと思う

調布の人も そうでない人も
日本の人も そうでない人も
いま 私たちは世界にとびたつ
いま 私たちは世界の人を迎える

地球には たくさんの人が生きている
みんな平和に生きたいと思う
きっとそうなる きっとできると
私たちは宣言する。

平成2年3月23日 調布市

英文は市HPで公開しています

原爆展

長崎市の被爆資料や広島市立基町高校の生徒による「原爆の絵」のほか、市の平和に向けた取り組みを展示します。

- 期 8月1日(出)～9日(日)
- 時 午前10時～午後6時
- 所 文化会館たづくり2階南ギャラリー
- 費 無料



原爆投下時刻で止まった時計
(長崎原爆資料館所蔵)



昨年度の展示の様子

調布っ子“平和なまち” 絵画コンテスト2020作品募集

平和首長会議が実施する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2020」へ応募する絵画を募集します。また、今年度は市でも独自の賞を設けて、全作品の中から表彰を行う予定です。

テーマ/平和なまち 作品/B4サイズ(257×364ミリ)または八つ切りサイズの画用紙で、スキャンが可能な平面作品

※11月20日(金)時点で3歳以上15歳以下※3～5歳の作品は平和首長会議への提出はなし 締第一次:7月20日(月) 最終:10月13日(火)

用申込書(市HPから印刷可)に作品に込めた思いなどを記入し、作品の裏に貼り、締切までに〒182-8511市役所文化生涯学習課「平和なまち絵画コンテスト」担当へ郵送で提出

※7月20日(月)までに応募があった全作品を、原爆展で展示予定。詳細は市HP(右記2次元コードからアクセス可)参照



作者メッセージ

街の上を飛ぶ天使は、
その街に住む人を励まし、
元気にします。



平和首長会議の2018年受賞作品 最優秀賞
ロシア・クラスノダール市 アナスタシア・スコベルツィナさん(9歳)

調布市国際交流平和基金にご寄附を

調布市の国際交流事業と平和事業を推進するための基金への寄附にご協力ください。

令和元年度の基金の活用例

国際交流事業/市が東京2020大会におけるホストタウンとなっているサウジアラビアの文化に触れる交流事業

平和祈念事業/平和祈念情報誌「ピース・レターちょうふ」作成、広島平和派遣事業

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」から申し込み、または寄附願(市HPから印刷可)を直接、または郵送・FAXで〒182-8511市役所4階管財課 ☎481-7173・☎481-6454へ



広島平和派遣事業

防災行政無線 ~世界平和を願う黙とうにご協力を~

昨年度に広島平和派遣に参加した中学生(ピースメッセンジャー)が黙とうの呼びかけを行います。戦争で亡くなった方のご冥福と、世界の恒久平和の実現を祈念するためにご協力をお願いします。

- 日①8月6日(木)午前8時15分②9日(日)午前11時2分③15日(土)正午
- ※緊急災害発生時などに中止する場合があります

平和関連刊行物

公共施設で配架するほか、市HPでも閲覧できます。

ピース・レターちょうふ

平和に向けた市の取り組みや、イベントなどをまとめました。「調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2020」の募集要項も掲載しています。

令和元年度調布市 中学生広島平和派遣報告書

12人の中学生を被爆地である広島市へ派遣し、その成果をまとめた報告書です。

平和の塔

市役所前庭にある「平和の塔」は、戦争・戦災・引き揚げ・原爆被爆などの惨禍の中で亡くなった方を追悼し、平和への誓いをこめて、多くの市民と市民団体の協力のもと、昭和48年11月10日に建立されました。中央の球体は精霊の安らぎと平和を表し、三本の柱は永遠と荘厳、そして平和を守る市民一人ひとりの願いを象徴しています。



(福祉総務課)

このほかの事業は、9面をご覧ください